

平成 27 年国勢調査結果の概要

これは、平成 27 年 10 月 1 日現在で実施された国勢調査の人口等基本集計及び小地域集計結果のうち、北九州市に関する結果をまとめたものである。

1 人 口

平成 27 年 10 月 1 日現在の北九州市の人口は 961,286 人で、平成 22 年国勢調査と比べると 15,560 人、1.6%の減少であった。これを男女別にみると、男性は 452,682 人(平成 22 年国勢調査と比べて 6,623 人、1.4%減)、女性は 508,604 人(同 8,937 人、1.7%減)であった。男性は女性より 55,922 人少なく、性比(女 100 人に対する男の割合)は 89.0 で平成 22 年国勢調査の 88.7 から 0.3 ポイント増であった。

(1) 人口の推移(現在の市域による)

第 1 回国勢調査(大正 9 年)で 433,185 人であった市域人口は、昭和 40 年には 100 万人を超え昭和 55 年国勢調査で最大となった。

昭和 60 年以降人口は減少傾向となり、平成 2 年国勢調査では 29,947 人減と大幅な減少となった。

その後も引き続き人口は減少しており、平成 17 年国勢調査では前回は 17,946 人減、平成 22 年国勢調査では前回は 16,679 人減、今回国勢調査では前回は 15,560 人減となった。

図1-年別、男女別人口及び世帯数の推移

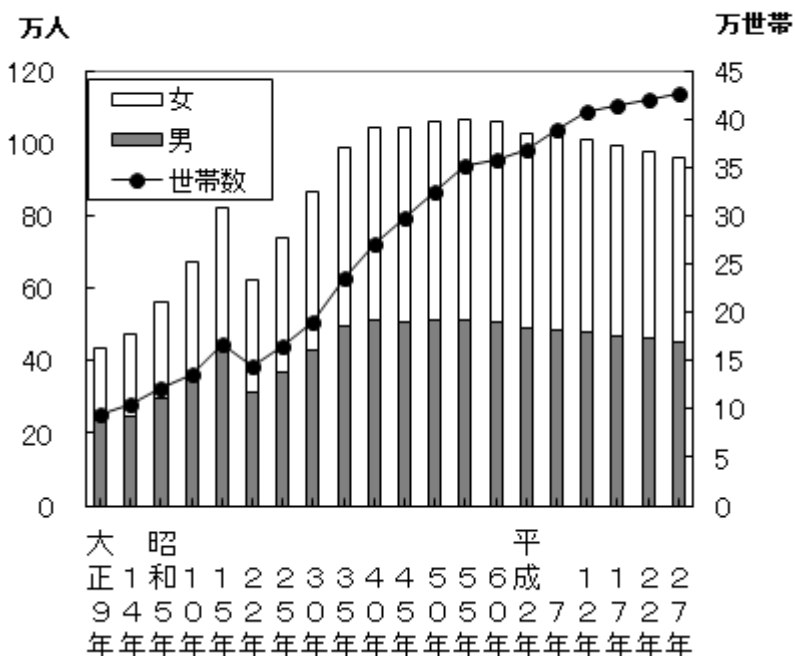


表 1-人口の推移

実施年	世帯数	人 口			人 口 増減数	人 口 増減率	1世帯当 たり人員	女100人 につき男
		総 数	男	女				
大正9年	94,689	433,185	235,500	197,685	—	—	4.57	119.1
14年	104,387	471,103	248,338	222,765	37,918	8.75	4.51	111.5
昭和5年	120,659	563,188	295,887	267,301	92,085	19.55	4.67	110.7
10年	136,560	669,187	349,600	319,587	105,999	18.82	4.90	109.4
15年	166,938	818,722	434,071	384,651	149,535	22.35	4.90	112.8
22年	143,328	622,178	314,446	307,732	△ 196,544	△ 24.01	4.34	102.2
25年	164,581	736,572	370,021	366,551	114,394	18.39	4.48	100.9
30年	190,424	868,032	431,201	436,831	131,460	17.85	4.56	98.7
35年	234,488	986,401	492,897	493,504	118,369	13.64	4.21	99.9
40年	271,365	1,042,388	512,078	530,310	55,987	5.68	3.84	96.6
45年	297,232	1,042,318	504,927	537,391	△ 70	△ 0.01	3.51	94.0
50年	323,978	1,058,442	513,353	545,089	16,124	1.55	3.27	94.2
55年	351,310	1,065,078	514,167	550,911	6,636	0.63	3.03	93.3
60年	358,382	1,056,402	506,618	549,784	△ 8,676	△ 0.81	2.95	92.1
平成2年	367,341	1,026,455	488,120	538,335	△ 29,947	△ 2.83	2.79	90.7
7年	388,741	1,019,598	483,936	535,662	△ 6,857	△ 0.67	2.62	90.3
12年	408,080	1,011,471	478,605	532,866	△ 8,127	△ 0.80	2.48	89.8
17年	413,510	993,525	466,779	526,746	△ 17,946	△ 1.77	2.40	88.6
22年	420,702	976,846	459,305	517,541	△ 16,679	△ 1.68	2.32	88.7
27年	426,325	961,286	452,682	508,604	△ 15,560	△ 1.59	2.25	89.0

注) 世帯及び人口は、国勢調査結果を昭和40年10月1日の市域に組み替えたもので、昭和45年以降は、次の国勢調査時点の市域に組み替えたものである。

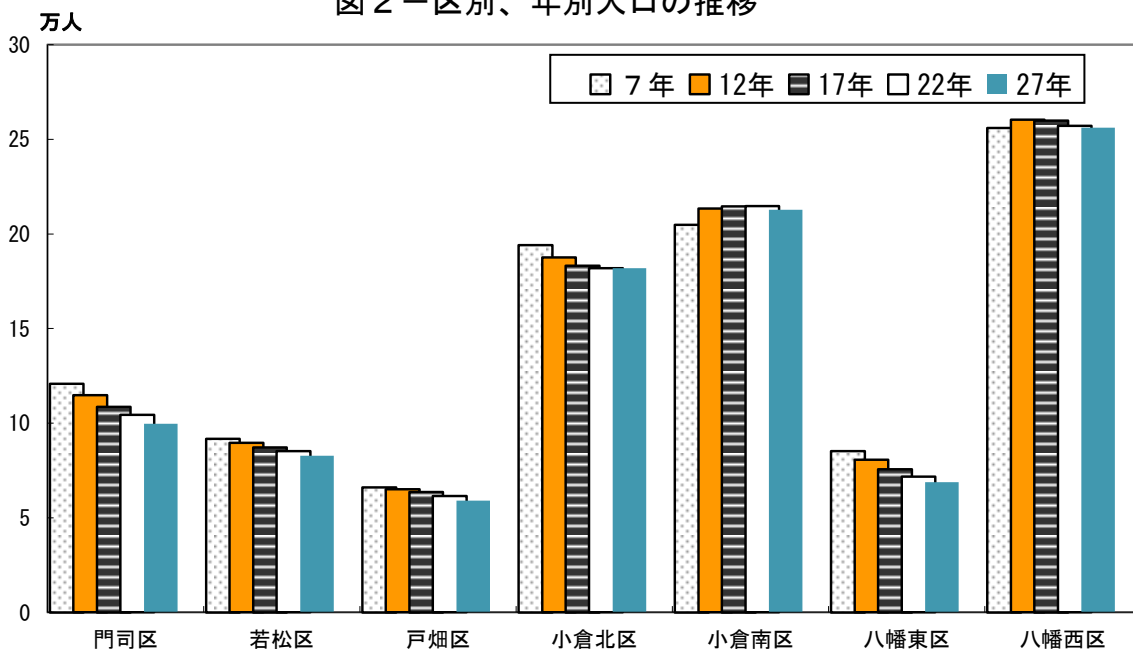
(2) 区別人口

区別の人口は、八幡西区の 256,117 人がもっとも多く、小倉南区 212,850 人、小倉北区 181,878 人と続き、以下門司区、若松区、八幡東区、戸畑区の順であった。これを平成 22 年国勢調査と比べると、全ての区で減少し、特に門司区は 4,832 人と大幅に減少した。

表 2－区別人口、年別人口

行政区	人口			増加数			増加率 (%)		
	17年	22年	27年	12/17	17/22	22/27	12/17	17/22	22/27
北九州市	993,525	976,846	961,286	△ 17,946	△ 16,679	△ 15,560	△ 1.8	△ 1.7	△ 1.6
門司区	108,677	104,469	99,637	△ 6,073	△ 4,208	△ 4,832	△ 5.3	△ 3.9	△ 4.6
若松区	87,340	85,167	82,844	△ 2,220	△ 2,173	△ 2,323	△ 2.5	△ 2.5	△ 2.7
戸畑区	63,714	61,583	59,116	△ 1,331	△ 2,131	△ 2,467	△ 2.0	△ 3.3	△ 4.0
小倉北区	183,286	181,936	181,878	△ 4,398	△ 1,350	△ 58	△ 2.3	△ 0.7	△ 0.0
小倉南区	214,624	214,793	212,850	1,252	169	△ 1,943	0.6	0.1	△ 0.9
八幡東区	75,814	71,801	68,844	△ 4,794	△ 4,013	△ 2,957	△ 5.9	△ 5.3	△ 4.1
八幡西区	260,070	257,097	256,117	△ 382	△ 2,973	△ 980	△ 0.1	△ 1.1	△ 0.4

図 2－区別、年別人口の推移



(3) 年齢別人口

人口の年齢構造をみると、15歳未満の年少人口 119,448 人(総人口に占める割合 12.6%)、15～64歳の生産年齢人口 549,397 人(同 58.1%)、65歳以上の老年人口 277,120 人(同 29.3%)となった。

これを平成 22 年国勢調査と比べると、年少人口 6,943 人減、生産年齢人口 49,786 人減に対し、老年人口は 32,260 人増となり、生産年齢人口の減少と老年人口の増加が際だっている。総人口に占める割合は、年少人口が 0.4 ポイントの減、生産年齢人口が 3.6 ポイントの減、老年人口が 4.1 ポイントの増となっている。

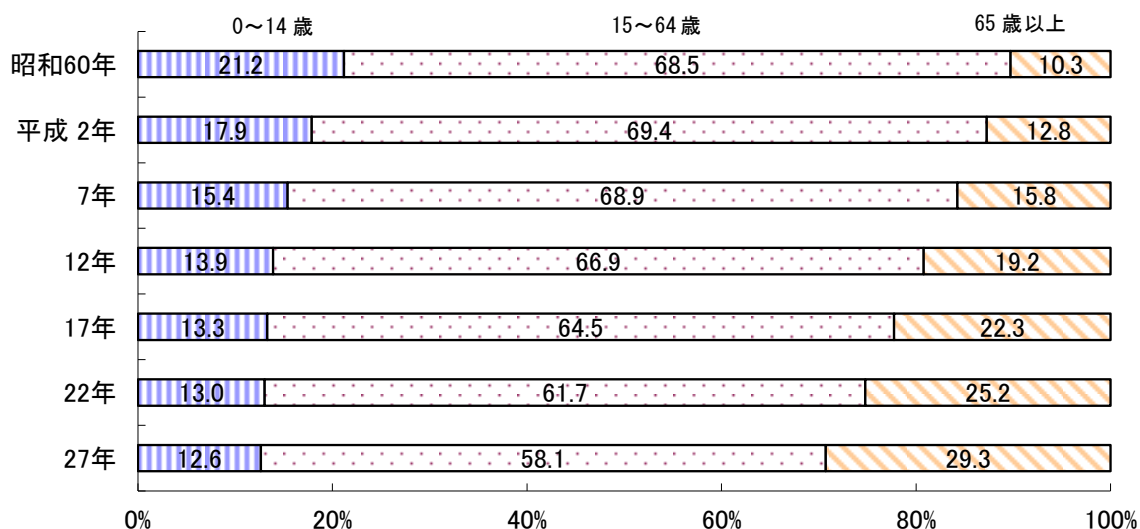
表 3－年齢 3 区分別人口

年次別人口	総数 1)	0～14歳		15～64歳		65歳以上		平均年齢 歳
		人	構成比 2)	人	構成比 2)	人	構成比 2)	
昭和60年	1,056,402	223,518	21.2	723,711	68.5	108,757	10.3	36.1
平成 2年	1,026,455	182,798	17.9	709,516	69.4	130,423	12.8	38.5
7年	1,019,598	156,649	15.4	701,664	68.9	160,584	15.8	40.6
12年	1,011,471	140,202	13.9	675,675	66.9	194,250	19.2	42.6
17年	993,525	131,893	13.3	639,776	64.5	220,985	22.3	44.5
22年	976,846	126,391	13.0	599,183	61.7	244,860	25.2	46.1
27年	961,286	119,448	12.6	549,397	58.1	277,120	29.3	47.5
男	452,682	61,060	13.8	269,059	60.6	113,597	25.6	45.3
女	508,604	58,388	11.6	280,338	55.8	163,523	32.6	49.4

1) 年齢「不詳」を含む。

2) 年齢「不詳」を除いて算出。

図3 一年齢3区分別人口の推移



2 世帯

(1) 世帯数及び世帯人員

世帯数は426,325世帯で、平成22年国勢調査と比べると5,623世帯、1.3%の増加であった。内訳をみると一般世帯が425,544世帯(平成22年国勢調査と比べて5,560世帯、1.3%増)、施設等の世帯は781世帯(同63世帯、8.8%増)であった。また、1世帯当たり人員は2.19人となり平成22年国勢調査と比べて0.08人の減となった。

一般世帯を世帯人員別にみると、1人世帯が37.0%と最も多く、次いで2人世帯29.9%、3人世帯16.6%、4人世帯11.5%と続き、これら世帯人員4人以下の世帯で一般世帯の9割強を占めている。前回と比べると、1人世帯が2.4ポイント、2人世帯が0.2ポイント増加したほかは、すべての区分で減少となり、少数世帯化がさらに進行している。

表4 一世帯数及び世帯人員

区分	北九州市	門司区	若松区	戸畑区	小倉北区	小倉南区	八幡東区	八幡西区
世帯総数 1)	426,325	43,082	33,692	27,797	91,253	88,497	31,442	110,562
一般世帯数	425,544	42,989	33,616	27,751	91,112	88,332	31,391	110,353
世帯人員が1人	157,488	13,979	9,829	11,526	43,859	28,011	12,246	38,038
2人	127,384	14,649	10,855	7,988	24,347	26,709	9,535	33,301
3人	70,510	7,340	6,206	4,292	12,237	16,376	4,939	19,120
4人	48,781	4,910	4,477	2,808	7,555	11,881	3,274	13,876
5人	15,992	1,572	1,649	857	2,342	3,993	1,022	4,557
6人以上	5,389	539	600	280	772	1,362	375	1,461
一般世帯人員	933,204	96,235	80,116	57,673	176,128	206,682	66,742	249,628
一般世帯の1世帯当たり人員	2.19	2.24	2.38	2.08	1.93	2.34	2.13	2.26
施設等の世帯	781	93	76	46	141	165	51	209

1) 世帯の種類「不詳」を含む。

一般世帯を家族類型別にみると、核家族世帯238,689世帯(一般世帯に占める割合56.1%)、その他の親族世帯24,630世帯(同5.8%)、非親族を含む世帯3,252世帯(同0.8%)、単独世帯157,488世帯(同37.0%)となっている。過去からの推移をみると核家族世帯の割合が減少し、替わって単独世帯が増加している。

表5 一家族類型別一般世帯数

区分	平成22年						平成27年					
	総数 1)	親族のみの世帯			非親族を 含む世帯	単独世帯	総数 1)	親族のみの世帯			非親族を 含む世帯	単独世帯
		総数	核家族世帯	核家族以 外の世帯				総数	核家族世帯	核家族以 外の世帯		
一般世帯数	419,984	270,168	241,293	28,875	3,466	145,276	425,544	263,319	238,689	24,630	3,252	157,488
一般世帯人員	951,685	794,692	679,225	115,467	8,753	145,276	933,204	762,917	667,116	95,801	7,992	157,488

1) 家族類型別「不詳」を含む。

(2) 高齢者のいる世帯

一般世帯のうち、65歳以上の親族がいる世帯は180,666世帯で、平成22年国勢調査と比べると17,907世帯、11.0%増で、一般世帯に占める割合は42.5%であった。

65歳以上の親族のいる一般世帯の世帯人員のうち、およそ3分の2(69.5%)が65歳以上の親族で占められている。

65歳以上の高齢単身世帯は60,915世帯で、平成22年国勢調査と比べると8,517世帯、16.3%の増加となった。また、高齢単身世帯が65歳以上の親族のいる一般世帯に占める割合は33.7%であった。

65歳以上の女性高齢単身世帯は43,887世帯で65歳以上の高齢単身世帯の72.0%を占めている。

表6－高齢者世帯

区分	総数	親族人員 が1人	2	3	4	5	6	7人以上
65歳以上親族のいる一般世帯								
世帯数	180,666	60,915	77,182	27,163	9,080	3,779	1,752	795
世帯人員	368,359	60,915	154,364	81,489	36,320	18,895	10,512	5,864
65歳以上世帯人員	256,047	60,915	126,717	44,975	14,051	5,345	2,697	1,347

表7－高齢単身世帯者数

高齢単身世帯者の男女	総数	65～69 歳	70～74	75～79	80～84	85歳 以上
65歳以上の高齢単身世帯者数	60,915	14,988	12,542	12,215	11,601	9,569
男	17,028	6,341	3,865	2,783	2,265	1,774
女	43,887	8,647	8,677	9,432	9,336	7,795

3 配偶関係

15歳以上人口を配偶関係別にみると、有配偶者は男性226,545人、女性227,663人で15歳以上人口に占める割合(有配偶率)は男性60.6%、女性52.0%となっている。未婚者は男性113,957人、女性102,419人で15歳以上人口に占める割合(未婚率)は男性30.5%、女性23.4%、死別者は男性13,298人、女性69,530人で15歳以上人口に占める割合(死別率)は男性3.6%、女性15.9%、離別者は男性19,965人、女性37,923人で15歳以上人口に占める割合(離別率)は男性5.3%、女性8.7%となっている。

表8－配偶関係、年齢(5歳階級)、男女別15歳以上人口(平成27年)

年齢	総数	男					女				
		総数1)	未婚	有配偶	死別	離別	総数1)	未婚	有配偶	死別	離別
総数	826,517	382,656	113,957	226,545	13,298	19,965	443,861	102,419	227,663	69,530	37,923
15～19歳	45,266	23,377	22,903	94	3	11	21,889	21,370	130	3	8
20～24	43,901	22,256	19,839	1,324	2	73	21,645	18,932	1,943	12	210
25～29	43,970	22,111	14,468	6,503	2	274	21,859	12,576	8,206	10	699
30～34	50,949	25,095	10,688	12,908	17	644	25,854	8,898	15,109	48	1,447
35～39	58,127	28,636	9,168	17,477	37	1,144	29,491	7,447	19,096	88	2,429
40～44	67,529	33,013	9,190	21,164	75	1,801	34,516	7,295	22,722	203	3,827
45～49	59,625	28,538	7,079	18,642	109	1,987	31,087	5,794	20,347	422	4,222
50～54	55,996	26,546	5,524	18,077	229	2,133	29,450	4,399	19,904	727	4,121
55～59	56,718	27,438	4,492	19,597	381	2,361	29,280	3,256	20,269	1,419	3,998
60～64	67,316	32,049	4,497	23,223	828	2,799	35,267	3,226	24,327	2,931	4,448
65～69	78,381	36,281	3,526	27,501	1,516	3,113	42,100	3,174	27,612	5,883	4,926
70～74	62,704	27,843	1,385	22,416	1,839	1,804	34,861	2,067	20,911	8,494	2,998
75～79	52,415	21,793	688	17,611	2,206	1,074	30,622	1,584	14,699	11,953	2,027
80～84	42,532	15,924	358	12,270	2,587	517	26,608	1,293	8,674	14,805	1,412
85歳以上	41,088	11,756	152	7,738	3,467	230	29,332	1,108	3,714	22,532	1,151
(再掲)											
65歳以上	277,120	113,597	6,109	87,536	11,615	6,738	163,523	9,226	75,610	63,667	12,514
75歳以上	136,035	49,473	1,198	37,619	8,260	1,821	86,562	3,985	27,087	49,290	4,590

1) 配偶関係「不詳」を含む。

表9—配偶関係、年齢(5歳階級)、男女別15歳以上人口の構成(平成27年)

年齢	男					女				
	総数	未婚	有配偶	死別	離別	総数	未婚	有配偶	死別	離別
総数	100.0	30.5	60.6	3.6	5.3	100.0	23.4	52.0	15.9	8.7
15～19歳	100.0	99.5	0.4	0.0	0.0	100.0	99.3	0.6	0.0	0.0
20～24	100.0	93.4	6.2	0.0	0.3	100.0	89.7	9.2	0.1	1.0
25～29	100.0	68.1	30.6	0.0	1.3	100.0	58.5	38.2	0.0	3.3
30～34	100.0	44.1	53.2	0.1	2.7	100.0	34.9	59.2	0.2	5.7
35～39	100.0	32.9	62.8	0.1	4.1	100.0	25.6	65.7	0.3	8.4
40～44	100.0	28.5	65.7	0.2	5.6	100.0	21.4	66.7	0.6	11.2
45～49	100.0	25.4	67.0	0.4	7.1	100.0	18.8	66.1	1.4	13.7
50～54	100.0	21.3	69.6	0.9	8.2	100.0	15.1	68.3	2.5	14.1
55～59	100.0	16.7	73.0	1.4	8.8	100.0	11.3	70.0	4.9	13.8
60～64	100.0	14.3	74.1	2.6	8.9	100.0	9.2	69.6	8.4	12.7
65～69	100.0	9.9	77.1	4.3	8.7	100.0	7.6	66.4	14.1	11.8
70～74	100.0	5.0	81.7	6.7	6.6	100.0	6.0	60.7	24.6	8.7
75～79	100.0	3.2	81.6	10.2	5.0	100.0	5.2	48.6	39.5	6.7
80～84	100.0	2.3	78.0	16.4	3.3	100.0	4.9	33.1	56.5	5.4
85歳以上	100.0	1.3	66.8	29.9	2.0	100.0	3.9	13.0	79.0	4.0
(再掲)										
65歳以上	100.0	5.5	78.2	10.4	6.0	100.0	5.7	47.0	39.5	7.8
75歳以上	100.0	2.4	76.9	16.9	3.7	100.0	4.7	31.9	58.0	5.4

注) 配偶関係「不詳」を除いて算出。

有配偶率、未婚率はともに男性の方が高くなっているが、死別率、離別率では女性の方が高い。有配偶率を年齢5歳階級別にみると、男性は15～19歳(0.4%)、20～24歳(6.2%)で10%以下となっているが、20歳代後半から上昇し30歳代で50%を超え、70～74歳の81.7%をピークとして70～79歳で80%以上の高率を示しているが、75歳以上では次第に低下している。一方、女性は15～19歳(0.6%)、20～24歳で9.2%と10%以下であるが、男性と同じく20歳代後半から上昇し30歳代後半で60%を超え、55～59歳の70.0%で早くもピークを迎え、その後60歳代から低下し70歳代後半から50%以下となっている。

平成22年国勢調査と比べると、有配偶率は男性0.3ポイント、女性0.7ポイント低下している。これを年齢5歳階級別にみると、男性は20～74歳までのうちほとんどの階級で低下しているが、25～29歳、30で0.0ポイント、35～39歳で0.8ポイント、75～79歳で0.2ポイント、80～84歳で0.3ポイント、85歳以上で1.2ポイントとそれぞれ上昇している。女性は15～24歳までと35～69歳までの各階級で低下しているが、25～29歳で0.6ポイント、30～34歳で1.1ポイント、70～74歳で3.4ポイント、75～79歳で3.8ポイント、80～84歳で3.6ポイント、85歳以上で2.6ポイントとそれぞれ上昇している。全体として有配偶率は低下の傾向にあるが、特に男性では50～54歳と60～69歳、女性では45～54歳の各階級での低下が目立っている。これに対して、男性は75歳以上、女性は70歳以上の年齢階級では有配偶率は前回調査を上回っている。

表10—配偶関係、年齢(5歳階級)、男女別15歳以上人口(平成22年)

年齢	総数	男					女				
		総数1)	未婚	有配偶	死別	離別	総数1)	未婚	有配偶	死別	離別
総数	844,043	391,097	117,344	234,256	13,044	19,814	452,946	105,113	234,759	69,266	36,164
15～19歳	46,217	23,576	23,231	123	2	11	22,641	22,314	186	2	16
20～24	48,095	24,568	22,143	1,739	8	88	23,527	20,412	2,492	14	273
25～29	51,953	25,687	16,995	7,657	12	387	26,266	15,261	9,746	30	886
30～34	58,782	28,968	12,436	15,135	17	842	29,814	10,495	17,106	67	1,768
35～39	68,362	33,435	10,948	20,376	60	1,494	34,927	8,452	22,715	138	3,160
40～44	60,840	29,223	8,012	18,933	75	1,746	31,617	6,237	20,955	284	3,667
45～49	56,858	27,101	6,149	18,417	145	1,968	29,757	4,592	20,385	515	3,867
50～54	57,656	28,015	4,924	20,175	247	2,227	29,641	3,335	21,063	960	3,911
55～59	68,781	32,960	4,941	24,176	577	2,753	35,821	3,330	25,559	2,035	4,427
60～64	81,639	38,524	4,040	29,300	1,174	3,385	43,115	3,326	29,896	4,288	5,037
65～69	66,999	30,648	1,701	24,840	1,483	2,142	36,351	2,240	23,973	6,447	3,180
70～74	58,123	25,325	919	20,758	1,862	1,409	32,798	1,780	18,446	9,680	2,289
75～79	51,388	20,839	538	16,693	2,431	848	30,549	1,570	13,392	13,178	1,732
80～84	36,790	13,980	268	10,661	2,422	375	22,810	1,099	6,544	13,338	1,147
85歳以上	31,560	8,248	99	5,273	2,529	139	23,312	670	2,301	18,290	804
(再掲)											
65歳以上	244,860	99,040	3,525	78,225	10,727	4,913	145,820	7,359	64,656	60,933	9,152
75歳以上	119,738	43,067	905	32,627	7,382	1,362	76,671	3,339	22,237	44,806	3,683

1) 配偶関係「不詳」を含む。

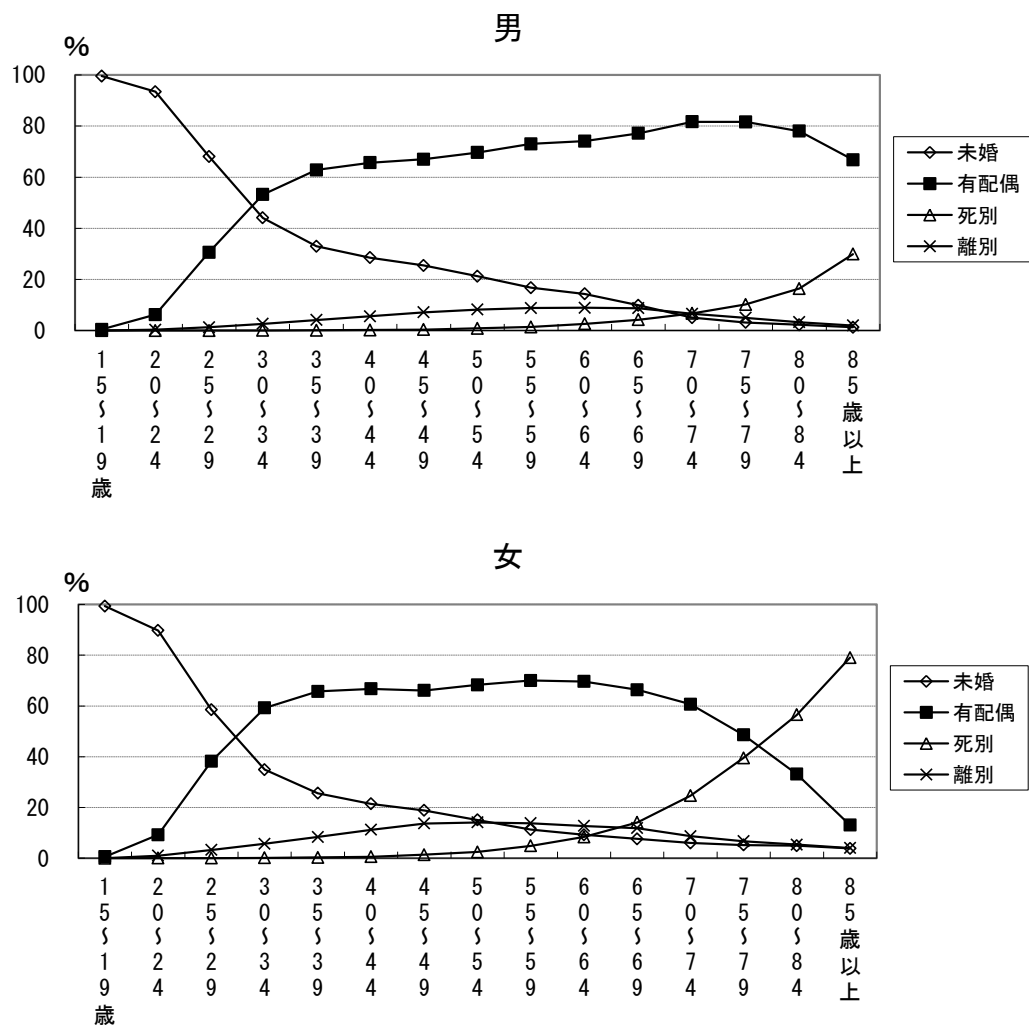
表 11—配偶関係、年齢(5歳階級)、男女別 15 歳以上人口の構成 (平成 22 年)

年齢	男					女				
	総数	未婚	有配偶	死別	離別	総数1)	未婚	有配偶	死別	離別
総数	100.0	30.5	60.9	3.4	5.2	100.0	23.6	52.7	15.6	8.1
15～19歳	100.0	99.4	0.5	0.0	0.0	100.0	99.1	0.8	0.0	0.1
20～24	100.0	92.3	7.3	0.0	0.4	100.0	88.0	10.7	0.1	1.2
25～29	100.0	67.8	30.6	0.0	1.5	100.0	58.9	37.6	0.1	3.4
30～34	100.0	43.7	53.2	0.1	3.0	100.0	35.7	58.1	0.2	6.0
35～39	100.0	33.3	62.0	0.2	4.5	100.0	24.5	65.9	0.4	9.2
40～44	100.0	27.9	65.8	0.3	6.1	100.0	20.0	67.3	0.9	11.8
45～49	100.0	23.0	69.0	0.5	7.4	100.0	15.6	69.4	1.8	13.2
50～54	100.0	17.9	73.2	0.9	8.1	100.0	11.4	72.0	3.3	13.4
55～59	100.0	15.2	74.5	1.8	8.5	100.0	9.4	72.3	5.8	12.5
60～64	100.0	10.7	77.3	3.1	8.9	100.0	7.8	70.3	10.1	11.8
65～69	100.0	5.6	82.3	4.9	7.1	100.0	6.3	66.9	18.0	8.9
70～74	100.0	3.7	83.2	7.5	5.6	100.0	5.5	57.3	30.1	7.1
75～79	100.0	2.6	81.4	11.9	4.1	100.0	5.3	44.8	44.1	5.8
80～84	100.0	2.0	77.7	17.6	2.7	100.0	5.0	29.6	60.3	5.2
85歳以上	100.0	1.2	65.6	31.5	1.7	100.0	3.0	10.4	82.9	3.6
(再掲)										
65歳以上	100.0	3.6	80.3	11.0	5.0	100.0	5.2	45.5	42.9	6.4
75歳以上	100.0	2.1	77.2	17.5	3.2	100.0	4.5	30.0	60.5	5.0

注) 配偶関係「不詳」を除いて算出。

未婚率を平成 22 年国勢調査と比べると、男 0.0 ポイント、女性 0.2 ポイントの下降であった。これを年齢 5 歳階級別にみると、男 40 歳以上、女 35～74 歳の年齢階級で上昇しており、男女とも中高年齢層での未婚率の上昇が著しい。

図 4—年齢 5 歳階級、男女、配偶関係別人口構成



死別率は、男女で大きな差(12.3ポイント)があるが、これを年齢5歳階級別にみるとすべての年齢階級で女性の方が高く、30歳以上では年齢階級が上昇するにつれその差が拡大している。また、平成22年国勢調査との比較では、全体としては男女ともわずかに(男性0.2ポイント、女性0.3ポイント)上昇しているが、これを年齢5歳階級別にみるとほとんどの年齢階級で平成22年国勢調査を下回っている。

離別率を平成22年国勢調査と比べると、男性0.2ポイント、女性0.5ポイントそれぞれ上昇し、男女とも中高年齢世帯で増加傾向にあるが、若年層では下降している。

4 住居

(1) 一般世帯

一般世帯のうち住宅に住む世帯は417,333世帯で、一般世帯の98.1%を占め、住宅以外の寮・寄宿舎、旅館、工場等に住む世帯は8,210世帯、同1.9%となっている。

これを住宅の所有関係別にみると、持ち家に住む世帯が231,109世帯(一般世帯に占める割合54.3%)と最も多く、次いで借家に住む世帯が172,644世帯(同40.6%)、給与住宅10,357世帯(同2.4%)、間借りの世帯3,223世帯(同0.8%)の順となっている。

また、借家の世帯の内訳をみると、民間の借家に住む世帯が126,823世帯(借家に住む世帯に占める割合73.5%)と最も多く、以下公営の借家32,852世帯(同19.0%)、都市再生機構・公社の借家12,969世帯(同7.5%)の順となっている。

平成22年国勢調査と比べると、世帯数の増加に伴い住宅に住む一般世帯も4,133世帯、1.0%増加している。住宅の所有関係別にみると、一般世帯に占める割合は持ち家が1.1ポイント上昇、借家が0.6ポイント、給与住宅が0.5ポイント、間借りが0.3ポイント下降している。

住宅に住む一般世帯についてその住宅の建て方別にみると、共同住宅が220,708世帯(住宅に住む一般世帯に占める割合52.9%)と最も多く、以下一戸建住宅187,544世帯(同44.9%)、長屋建8,456世帯(同2.0%)、その他625世帯(同0.1%)となっている。これを、平成22年国勢調査と比べると共同住宅が7,241世帯、一戸建が1,790世帯の増加、長屋建が4,514世帯の減少となった。

共同住宅の階数別にみると、建物全体の階数では3～5階建が最も多く81,837世帯で、共同住宅に住む一般世帯の37.1%を占めている。ついで、6～10階建が59,310世帯、1・2階建36,305世帯、11～14階建35,323世帯、15階建以上7,933世帯の順となっている。世帯が住んでいる階別にみると、1・2階に住んでいる世帯が最も多く89,103世帯、以下3～5階81,829世帯、6～10階39,987世帯、11～14階8,592世帯、15階以上1,197世帯となっており、共同住宅に住む一般世帯の77.4%は5階以下の階に住んでいる。

表12-住宅の建て方、住宅の所有の関係別住宅に住む一般世帯数、一般世帯人員(平成27年)

住宅の建て方 住宅の所有の関係	総数	一戸建	長屋建	共同住宅											その他
				総数 (2)	建物全体の階数					(再掲)世帯が住んでいる階					
					1・2階 建	3～5	6～10	11～14	15階建 以上	1・2階	3～5	6～10	11～14	15階 以上	
一般世帯数 1)	425,544	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
住宅に住む一般世帯	417,333	187,544	8,456	220,708	36,305	81,837	59,310	35,323	7,933	89,103	81,829	39,987	8,592	1,197	625
主世帯	414,110	185,713	8,286	219,535	35,955	81,472	59,027	35,161	7,920	88,525	81,449	39,832	8,539	1,190	576
持ち家	231,109	173,164	1,865	55,852	807	9,542	22,862	17,384	5,257	12,221	21,217	17,262	4,493	659	228
公営の借家	32,852	42	511	32,299	306	24,775	3,798	3,420	-	13,037	15,606	2,912	744	-	-
都市再生機構・公社の借家	12,969	-	155	12,814	25	8,518	1,798	2,404	69	4,333	6,043	1,854	578	6	-
民営の借家	126,823	11,709	5,620	109,243	33,665	34,089	28,449	10,757	2,283	55,221	34,853	16,333	2,355	481	251
給与住宅	10,357	798	135	9,327	1,152	4,548	2,120	1,196	311	3,713	3,730	1,471	369	44	97
間借り	3,223	1,831	170	1,173	350	365	283	162	13	578	380	155	53	7	49
住宅以外に住む一般世帯	8,210	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
一般世帯人員 1)	933,204	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
住宅に住む一般世帯	921,543	471,634	16,007	432,493	66,513	158,368	116,592	73,287	17,733	170,289	162,269	79,846	17,897	2,192	1,409
主世帯	915,366	467,709	15,700	430,632	65,948	157,772	116,152	73,048	17,712	169,343	161,663	79,622	17,820	2,184	1,325
持ち家	577,295	437,250	3,580	135,871	1,549	21,261	55,190	44,180	13,691	29,480	51,273	42,453	11,149	1,516	594
公営の借家	65,324	99	1,034	64,191	648	49,840	7,196	6,507	-	24,548	32,541	5,629	1,473	-	-
都市再生機構・公社の借家	25,202	-	269	24,933	35	16,814	3,537	4,404	143	8,158	12,248	3,444	1,069	14	-
民営の借家	224,855	28,094	10,515	185,727	61,465	59,330	45,969	15,701	3,262	98,952	57,579	25,175	3,435	586	519
給与住宅	22,690	2,266	302	19,910	2,251	10,527	4,260	2,256	616	8,205	8,022	2,921	694	68	212
間借り	6,177	3,925	307	1,861	565	596	440	239	21	946	606	224	77	8	84
住宅以外に住む一般世帯	11,657	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

1) 住宅の建て方「不詳」を含む。

2) 建物全体の階数「不詳」を含む。

表 13—住宅の建て方、住宅の所有の関係別住宅に住む一般世帯数、一般世帯人員（平成 22 年）

住宅の建て方 住宅の所有の関係	総数	一戸建	長屋建	共同住宅											その他	
				総数 2)	建物全体の階数					(再掲) 世帯が住んでいる階						
					1・2階 建	3～5	6～10	11～14	15階建 以上	1・2階	3～5	6～10	11～14	15階 以上		
一般世帯数 1)	419,984	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
住宅に住む一般世帯	413,200	185,754	12,970	213,467	36,419	83,818	55,727	30,913	6,588	88,159	80,715	36,354	7,252	985	959	
主世帯	408,399	183,259	12,622	211,571	35,717	83,190	55,349	30,747	6,566	87,084	80,131	36,150	7,220	984	897	
持ち家	223,404	169,002	3,096	50,937	966	9,492	21,321	14,769	4,389	11,680	19,756	15,405	3,609	487	363	
公営の借家	34,163	40	948	33,175	378	25,560	3,764	3,473	-	13,265	16,252	2,901	757	-	-	
都市再生機構・公社の借家	14,279	-	218	14,061	43	9,496	1,955	2,493	74	4,636	6,886	1,940	593	6	-	
民営の借家	124,490	13,317	8,189	102,535	33,153	32,240	26,167	9,045	1,928	52,897	32,564	14,605	2,000	467	423	
給与住宅	12,063	900	171	10,863	1,177	6,402	2,142	967	175	4,606	4,673	1,299	261	24	111	
間借り	4,801	2,495	348	1,896	702	628	378	166	22	1,075	584	204	32	1	62	
住宅以外に住む一般世帯	6,784	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
一般世帯人員 1)	951,685	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
住宅に住む一般世帯	943,533	480,134	25,407	435,915	68,682	172,587	114,254	65,383	15,004	175,786	168,558	74,426	15,415	1,725	2,007	
主世帯	933,910	474,352	24,755	432,834	67,498	171,592	113,651	65,125	14,963	173,991	167,645	74,106	15,363	1,724	1,899	
持ち家	573,356	438,063	6,263	128,142	1,921	22,541	53,901	37,999	11,780	29,295	49,764	38,851	9,110	1,122	874	
公営の借家	72,761	81	2,010	70,670	882	54,958	7,654	7,176	-	26,887	36,079	6,057	1,647	-	-	
都市再生機構・公社の借家	29,400	-	415	28,985	47	20,020	4,009	4,730	179	9,172	14,866	3,756	1,174	17	-	
民営の借家	230,336	33,620	15,661	180,240	62,175	58,395	43,662	13,326	2,677	97,831	56,096	22,842	2,924	542	783	
給与住宅	28,057	2,588	406	24,797	2,473	15,678	4,425	1,894	327	10,806	10,840	2,600	508	43	242	
間借り	9,623	5,782	652	3,081	1,184	995	603	258	41	1,795	913	320	52	1	108	
住宅以外に住む一般世帯	8,152	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

- 1) 住宅の建て方「不詳」を含む。
2) 建物全体の階数「不詳」を含む。

(2) 人口集中地区(DID)の一般世帯

人口集中地区の一般世帯のうち住宅に住む世帯は 382,619 世帯で、一般世帯の 98.1%を占め、住宅以外の寮・寄宿舎、旅館、工場等に住む世帯は 7,285 世帯、同 1.9%となっている。

これを住宅の所有関係別にみると持ち家に住む世帯が 204,981 世帯(一般世帯に占める割合 52.6%)と最も多く、次いで借家に住む世帯が 164,851 世帯(同 42.3%)、給与住宅 9,820 世帯(同 2.5%)、間借りの世帯 2,967 世帯(同 0.8%)の順となっている。市全体と比べると、持ち家の割合が 1.7 ポイント低く、借家の割合が 1.7 ポイント高くなっている。借家の世帯の内訳をみると民間の借家に住む世帯が 120,894 世帯(借家に住む世帯に占める割合 73.3%)、公営・都市再生機構・公社の借家 43,957 世帯(同 26.7%)となっている。

住宅に住む一般世帯についてその住宅の建て方別にみると、共同住宅が 213,086 世帯(住宅に住む一般世帯に占める割合 55.7%)と最も多く、次いで一戸建 161,212 世帯(同 42.1%)、長屋建 7,741 世帯(同 2.0%)、その他 580 世帯(同 0.2%)となっている。これを平成 22 年国勢調査と比べると一戸建の割合は 0.2 ポイント減少、共同住宅の割合が 1.4 ポイント増加した。

共同住宅の階数別にみると、建物全体の階数では 3～5 階建が最も多く 79,053 世帯で、共同住宅に住む一般世帯の 37.1%はこの住宅に住んでいる。ついで、6～10 階建 57,420 世帯、11～14 階建 35,151 世帯、1・2 階建 33,529 世帯、15 階建以上 7,933 世帯の順となっている。これを、世帯が住んでいる階別にみると 1・2 階に住んでいる世帯が最も多く、84,356 世帯、以下 3～5 階 79,705 世帯、6～10 階 39,260 世帯、11～14 階 8,568 世帯、15 階以上 1,197 世帯となっており、共同住宅に住む一般世帯の 77.0%は 5 階以下の階に住んでいる。

表 14—住宅の建て方、住宅の所有の関係別住宅に住む一般世帯数、一般世帯人員（平成 27 年 D I D）

住宅の建て方 住宅の所有の関係	総数	一戸建	長屋建	共同住宅											その他
				総数 2)	建物全体の階数					(再掲) 世帯が住んでいる階					
					1・2階 建	3～5	6～10	11～14	15階建 以上	1・2階	3～5	6～10	11～14	15階 以上	
一般世帯数 1)	389,904	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
住宅に住む一般世帯	382,619	161,212	7,741	213,086	33,529	79,053	57,420	35,151	7,933	84,356	79,705	39,260	8,568	1,197	580
主世帯	379,652	159,589	7,585	211,942	33,189	78,698	57,146	34,989	7,920	83,798	79,332	39,107	8,515	1,190	536
持ち家	204,981	148,270	1,780	54,713	768	9,381	21,955	17,352	5,257	11,897	20,731	16,937	4,489	659	218
公営・都市再生機構・公社の借家	43,957	26	508	43,423	260	31,703	5,567	5,824	69	16,365	20,967	4,763	1,322	6	-
民営の借家	120,894	10,585	5,185	104,894	31,120	33,304	27,558	10,629	2,283	52,061	34,053	15,959	2,340	481	230
給与住宅	9,820	708	112	8,912	1,041	4,310	2,066	1,184	311	3,475	3,581	1,448	364	44	88
間借り	2,967	1,623	156	1,144	340	355	274	162	13	558	373	153	53	7	44
住宅以外に住む一般世帯	7,285	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
一般世帯人員 1)	845,707	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
住宅に住む一般世帯	835,336	402,504	14,527	417,002	61,074	152,514	112,650	73,031	17,733	160,725	157,857	78,369	17,859	2,192	1,303
主世帯	829,689	399,009	14,249	415,204	60,529	151,941	112,230	72,792	17,712	159,819	157,271	78,148	17,782	2,184	1,227
持ち家	508,510	371,531	3,403	133,012	1,463	20,914	52,854	44,090	13,691	28,677	50,072	41,607	11,140	1,516	564
公営・都市再生機構・公社の借家	86,604	67	980	85,557	525	63,281	10,697	10,911	143	30,658	43,274	9,069	2,542	14	-
民営の借家	213,009	25,393	9,621	177,529	56,494	57,694	44,527	15,552	3,262	92,749	56,185	24,595	3,414	586	466
給与住宅	21,566	2,018	245	19,106	2,047	10,052	4,152	2,239	616	7,735	7,740	2,877	686	68	197
間借り	5,647	3,495	278	1,798	545	573	420	239	21	906	586	221	77	8	76
住宅以外に住む一般世帯	10,371	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

- 1) 住宅の建て方「不詳」を含む。
2) 建物全体の階数「不詳」を含む。

(3) 高齢者のいる世帯

65歳以上の世帯員のいる一般世帯を住宅の所有の関係別にみると、持ち家が129,373世帯(65歳以上の世帯員のいる一般世帯に占める割合71.6%)と最も多く、これは一般世帯全体における持ち家の所有割合(同54.3%)を17.3ポイントと大きく上回っている。以下、民営の借家25,228世帯(同14.0%)、公営の借家17,812世帯(同9.9%)、都市再生機構・公社の借家5,949世帯(同3.3%)、間借り936世帯(同0.5%)、給与住宅525世帯(同0.3%)の順となっている。

高齢夫婦世帯を住宅の建て方別にみると、一戸建が37,214世帯(高齢夫婦世帯に占める割合69.3%)と最も多く、次いで共同住宅15,212世帯(同28.3%)、長屋建906世帯(同1.7%)となっている。

共同住宅の階数別にみると、1・2階に住んでいる世帯が5,787世帯、3～5階に5,674世帯と5階以下の階に住んでいる世帯が共同住宅に住んでいる世帯全体の75%以上を占めている。

表15—住宅の所有関係別65歳以上の世帯員のいる一般世帯数、一般世帯人員、65歳以上世帯人員、1世帯当たり人員

住宅の所有の関係	世帯数	世帯人員	65歳以上世帯人員	1世帯当たり人員
65歳以上世帯員のいる一般世帯	180,666	368,359	256,047	2.04
住宅に住む一般世帯	179,823	366,678	254,835	2.04
主世帯	178,887	365,211	253,715	2.04
持ち家	129,373	283,415	191,570	2.19
公営の借家	17,812	28,787	22,781	1.62
都市再生機構・公社の借家	5,949	9,868	7,770	1.66
民営の借家	25,228	41,946	30,894	1.66
給与住宅	525	1,195	700	2.28
間借り	936	1,467	1,120	1.57
住宅以外に住む一般世帯	843	1,681	1,212	1.99

表16—住宅の建て方別高齢夫婦世帯数

住居の建て方	総数 1)	住宅に住む 一般世帯	一戸建	長屋建	共同住宅					その他	
					総数 2)	世帯が住んでいる階					
						1・2階	3～5	6～10	11～14		15階以上
高齢夫婦世帯 (再掲)	53,698	53,390	37,214	906	15,212	5,787	5,674	3,020	660	71	58
夫婦とも65歳以上の高齢夫婦世帯 (別掲)	46,848	46,557	32,848	794	12,864	5,021	4,721	2,514	544	64	51
いずれかが65歳以上の夫婦のみの世帯 (別掲)	56,956	56,634	38,830	969	16,774	6,349	6,260	3,354	731	80	61
いずれかが60歳以上の夫婦のみの世帯	67,338	66,977	44,805	1,108	20,989	7,695	7,972	4,266	940	116	75

1) 住宅の建て方「不詳」を含む。

2) 建物全体の階数「不詳」を含む。

65歳以上の高齢単身世帯を住宅の所有の関係別にみると、持ち家が33,896世帯(65歳以上の高齢単身世帯に占める割合55.6%)と最も多く、次いで民営の借家13,853世帯(同22.7%)、公営・都市再生機構・公社の借家12,129世帯(同19.9%)、間借り571世帯(同0.9%)、給与住宅160世帯(同0.3%)の順となっている。

表17—住宅の所有の関係別住宅に住む高齢単身世帯

市・区	総数	住宅に住む 一般世帯	主世帯					間借り
			総数	持ち家	公営・都市 再生機構・ 公社の借家	民営の借家	給与住宅	
65歳以上の高齢単身世帯								
北九州市	60,915	60,609	60,038	33,896	12,129	13,853	160	571
門司区	7,834	7,803	7,726	4,644	2,035	1,037	10	77
若松区	4,917	4,892	4,841	3,200	841	784	16	51
戸畑区	4,512	4,482	4,434	2,236	970	1,213	15	48
小倉北区	13,580	13,508	13,366	6,084	2,542	4,683	57	142
小倉南区	10,210	10,162	10,080	6,123	1,919	2,011	27	82
八幡東区	5,752	5,729	5,676	3,328	729	1,614	5	53
八幡西区	14,110	14,033	13,915	8,281	3,093	2,511	30	118

(4) 外国人のいる世帯

外国人のいる一般世帯を住宅の所有の関係別にみると、民営の借家 2,569 世帯(外国人のいる一般世帯に占める割合 42.7%)と最も多い。以下、持ち家が 2,046 世帯(同 34.0%)、公営の借家 567 世帯(同 9.4%)、給与住宅 264 世帯(同 4.4%)、間借り 228 世帯(同 3.8%)、都市再生機構・公社の借家 178 世帯(同 3.0%)の順となっている。

表 18—住宅の所有の関係別外国人のいる一般世帯数

外国人のいる世帯の類型	総数	住宅に住む一般世帯								住宅以外に住む一般世帯
		総数	主 世 帯					間借り		
			総数	持ち家	公営の借家	都市再生機構・公社の借家	民営の借家		給与住宅	
外国人のいる一般世帯数	6,015	5,852	5,624	2,046	567	178	2,569	264	228	163
外国人のみ	4,080	3,931	3,714	1,052	398	120	1,938	206	217	149
外国人と日本人がいる世帯	1,883	1,869	1,858	981	166	57	599	55	11	14
日本人の親族がいる世帯	1,852	1,838	1,827	972	165	57	578	55	11	14
外国人の親族がいる世帯	1,807	1,795	1,784	951	164	57	557	55	11	12
外国人の親族がいない世帯	45	43	43	21	1	-	21	-	-	2
日本人の親族がいない世帯	31	31	31	9	1	-	21	-	-	-

1) 世帯主の国籍が日本人、外国人の別「不詳」を含む。

5 外国人

本市に居住する外国人は 9,388 人(男性 4,680 人、女性 4,708 人)で、総人口に占める割合は 1.0%であった。平成 22 年国勢調査と比べると 370 人の減少であった。

外国人を国籍別にみると、韓国・朝鮮が 4,454 人(外国人人口に占める割合 47.4%)と最も多く、次いで中国 2,395 人(同 25.5%)、ベトナム 362 人(同 3.9%)の順であった。平成 22 年国勢調査と比べると、韓国・朝鮮は 538 人、中国が 334 人とともに減少している。

区別にみると小倉北区(3,188 人)が最も多く、以下八幡西区(2,159 人)、小倉南区(1,128 人)、若松区(987 人)、門司区(669 人)、戸畑区(631 人)、八幡東区(626 人)と続いた。

平成 22 年国勢調査と比べると、小倉南区 116 人、若松区 85 人、戸畑区 49 人と 3 区で増加したが、八幡西区 275 人、八幡東区 225 人、門司区 75 人、小倉北区 45 人と 4 区で減少した。

表 19—国籍、男女別外国人

地域、男女	総数 1)	韓国、 朝鮮	中国	フィリ ピン	タイ	インド ネシア	ベトナム	インド	イギリス	アメリカ	ブラジル	ペルー	その他
北九州市	9,388	4,454	2,395	306	59	180	362	25	57	126	18	3	1,403
男	4,680	2,065	1,186	41	25	132	231	23	42	92	9	3	831
女	4,708	2,389	1,209	265	34	48	131	2	15	34	9	-	572
門司区	669	422	130	27	-	7	6	-	2	7	-	1	67
男	336	197	69	6	-	6	6	-	2	6	-	1	43
女	333	225	61	21	-	1	-	-	-	1	-	-	24
若松区	987	269	406	37	7	55	50	15	2	7	1	-	138
男	553	136	227	4	4	51	28	15	2	4	-	-	82
女	434	133	179	33	3	4	22	-	-	3	1	-	56
戸畑区	631	361	96	9	2	12	7	2	6	9	2	-	125
男	325	167	51	-	2	6	4	2	5	6	2	-	80
女	306	194	45	9	-	6	3	-	1	3	-	-	45
小倉北区	3,188	1,478	769	77	12	11	157	2	24	45	6	-	607
男	1,588	682	365	10	1	1	99	2	16	36	4	-	372
女	1,600	796	404	67	11	10	58	-	8	9	2	-	235
小倉南区	1,128	578	192	60	6	18	28	-	15	24	3	1	203
男	519	266	77	7	-	9	26	-	11	18	1	1	103
女	609	312	115	53	6	9	2	-	4	6	2	-	100
八幡東区	626	328	139	16	12	19	37	-	5	11	1	-	58
男	317	150	60	4	11	19	28	-	4	6	-	-	35
女	309	178	79	12	1	-	9	-	1	5	1	-	23
八幡西区	2,159	1,018	663	80	20	58	77	6	3	23	5	1	205
男	1,042	467	337	10	7	40	40	4	2	16	2	1	116
女	1,117	551	326	70	13	18	37	2	1	7	3	-	89

1) 無国籍及び国名「不詳」を含む。

6 人口集中地区

平成27年国勢調査の結果、市内13地区が人口集中地区として設定された。その面積は156.81 k㎡で平成22年国勢調査と比べて0.72 k㎡、0.5%減であった。

(1) 人口

人口集中地区の人口は864,534人(人口密度5,513.3人/k㎡)で、総人口に占める割合は89.9%となった。これを平成22年国勢調査と比べると13,299人、1.5%減であった。

人口集中地区の年齢構造をみると、年少人口107,191人(人口集中地区人口に占める割合12.6%)、生産年齢人口498,363人(同58.6%)、老年人口244,316人(同28.7%)となっており、市全体と比べ生産年齢人口の割合が高く、老年人口の割合が低くなっている。

平均年齢は47.2歳で、市全体と比べ0.3歳若くなっている。

表20—人口集中地区の人口

地 域	人 口		平成22年～27年の人口増減		面積(km ²) 1)	人口密度 (1km ² 当たり)
	平成27年	平成22年(組替)	実数	率(%)		
人口集中地区	864,534	877,833	△13,299	△1.5	156.81	5,513.3
北九州市	864,534	877,833	△13,299	△1.5	156.81	5,513.3
門司区	83,359	87,138	△3,779	△4.3	15.51	5,374.5
Ⅰ	76,251	80,552	△4,301	△5.3	13.47	5,660.8
Ⅱ	7,108	6,586	522	7.9	2.04	3,484.3
若松区	66,042	70,024	△3,982	△5.7	14.57	4,532.7
Ⅰ	49,618	53,038	△3,420	△6.4	12.14	4,087.1
Ⅱ	16,424	16,986	△562	△3.3	2.43	6,758.8
戸畑区	58,462	60,914	△2,452	△4.0	15.84	3,690.8
小倉北区	179,710	179,612	98	0.1	28.29	6,352.4
小倉南区	184,330	183,250	1,080	0.6	26.66	6,914.1
Ⅰ	114,061	115,758	△1,697	△1.5	16.08	7,093.3
Ⅱ	61,401	58,895	2,506	4.3	9.07	6,769.7
Ⅲ	8,868	8,597	271	3.2	1.52	5,834.2
八幡東区	65,412	69,080	△3,668	△5.3	14.87	4,398.9
八幡西区	227,219	227,815	△596	△0.3	41.06	5,533.8
Ⅰ	215,522	215,478	44	0.0	39.05	5,519.1
Ⅱ	5,953	6,188	△235	△3.8	0.66	9,019.7
Ⅲ	5,744	6,149	△405	△6.6	1.35	4,254.8

1) 国土交通省国土地理院「平成27年全国都道府県市区町村別面積調」による。

表21—人口集中地区の年齢3区分別人口及び平均年齢

地 域	人 口 (人) 1)				年齢別割合(%) 2)			平均年齢 (歳)
	総 数	15歳未満	15～64歳	65歳以上	15歳未満	15～64歳	65歳以上	
北九州市DIDs	864,534	107,191	498,363	244,316	12.6	58.6	28.7	47.2
門司区DIDs	83,359	9,900	44,720	27,743	12.0	54.3	33.7	49.9
若松区DIDs	66,042	7,541	37,655	20,682	11.4	57.2	31.4	49.2
戸畑区DIDs	58,462	6,823	33,951	17,447	11.7	58.3	30.0	47.9
小倉北区DIDs	179,710	19,177	103,862	49,228	11.1	60.3	28.6	47.5
小倉南区DIDs	184,330	26,795	110,529	46,272	14.6	60.2	25.2	44.8
八幡東区DIDs	65,412	7,018	35,869	22,309	10.8	55.0	34.2	50.2
八幡西区DIDs	227,219	29,937	131,777	60,635	13.5	59.3	27.3	46.4

1) 年齢「不詳」を含む。

2) 年齢「不詳」を除いて算出。

(2) 世帯

人口集中地区の一般世帯の1世帯当たり平均人員は2.17人で、市全体の2.19人と比べるとさほどの変化は見られない。

一般世帯を世帯人員別にみると、市全体と同じく世帯人員が1人の世帯が最も多く147,644世帯(人口集中地区の一般世帯に占める割合37.8%)であった。以下世帯人員の増加につれて、世帯数が減少する傾向は市全体と同じである。

表 22—人口集中地区の一般世帯

地 域	世 帯 数							世帯人員	1世帯 当たり 人員
	総 数 1)	世帯人員 が1人	2	3	4	5	6人以上		
北九州市 DIDs	390,475	147,644	115,968	63,805	43,862	14,101	4,524	845,707	2.17
門司区 DIDs	36,960	12,259	12,376	6,260	4,256	1,339	416	82,155	2.23
若松区 DIDs	27,959	8,324	9,391	5,132	3,398	1,236	442	65,064	2.33
戸畑区 DIDs	27,378	11,229	7,929	4,263	2,786	848	277	57,019	2.09
小倉北区 DIDs	90,403	43,624	24,033	12,078	7,471	2,315	749	174,166	1.93
小倉南区 DIDs	77,956	25,413	23,207	14,294	10,438	3,433	1,070	180,373	2.32
八幡東区 DIDs	30,314	11,944	9,226	4,730	3,085	944	340	63,827	2.11
八幡西区 DIDs	99,505	34,851	29,806	17,048	12,428	3,986	1,230	223,103	2.25

1) 世帯人員数「不詳」を含む。

7 大都市の状況

表 23—大都市の人口

都 市	人 口			年 齢 別 割 合 (%)			平均年齢	年 齢 中位数
	総数	男	女	15歳未満	15～64歳	65歳以上		
札幌市	1,952,356	910,614	1,041,742	11.4	63.7	24.9	46.2	46.4
仙台市	1,082,159	527,170	554,989	12.5	65.0	22.6	44.3	43.9
さいたま市	1,263,979	627,238	636,741	13.2	64.0	22.8	44.3	44.4
千葉市	971,882	482,840	489,042	12.7	62.4	24.9	45.4	45.6
横浜市	3,724,844	1,855,985	1,868,859	12.7	64.0	23.4	44.9	45.0
川崎市	1,475,213	749,038	726,175	12.8	67.7	19.5	42.8	42.2
相模原市	720,780	361,060	359,720	12.4	63.6	23.9	44.8	44.9
新潟市	810,157	389,512	420,645	12.2	60.8	27.0	46.8	47.2
静岡市	704,989	343,338	361,651	12.2	59.3	28.6	47.5	48.2
浜松市	797,980	395,509	402,471	13.6	60.0	26.4	46.2	46.5
名古屋市	2,295,638	1,133,640	1,161,998	12.5	63.3	24.2	45.0	44.7
京都市	1,475,183	699,748	775,435	11.3	62.0	26.7	45.9	45.6
大阪市	2,691,185	1,302,562	1,388,623	11.2	63.6	25.3	45.8	45.2
堺市	839,310	402,379	436,931	13.6	59.5	26.9	45.8	45.8
神戸市	1,537,272	726,700	810,572	12.2	60.7	27.1	46.6	47.0
岡山市	719,474	345,913	373,561	13.7	61.5	24.7	44.7	44.2
広島市	1,194,034	576,850	617,184	14.2	62.1	23.7	44.4	44.4
北九州市	961,286	452,682	508,604	12.6	58.1	29.3	47.5	48.5
福岡市	1,538,681	726,666	812,015	13.3	66.0	20.7	43.1	42.5
熊本市	740,822	348,470	392,352	14.1	61.7	24.2	44.8	44.8
(参考)								
東京都区部	9,272,740	4,567,247	4,705,493	11.0	67.0	22.0	44.5	43.5